Press Release

アドソル日進

2026年11月25日

チーム Space Data Lab が「NIHONBASHI SPACE WEEK 2026」にて「自治体が主導する、衛星データを活用した人材育成・ビジネス促進」をテーマにトーク＆パネルディスカッションを開催

アドソル日進株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 篠﨑俊明、以下：アドソル日進）の研究開発組織である「AI 研究所」は、「宇宙衛星データのさらなる活用とその周知活動」をテーマに、立命館大学の中須賀真一教授・合同会社 Oppofields の向井田明 CTO,COO と共同で「チーム Space Data Lab（チームスペースデータラボ　以下：SDL）」を結成し、活動を推進しています。

この活動の一環として、12 月 3 日、アジア最大級の宇宙ビジネスイベント「NIHONBASHI SPACE WEEK 2026」において「自治体が主導する、衛星データを活用した人材育成・ビジネス促進」と題し、トーク＆パネルディスカッションを開催いたしますので、お知らせいたします。



「NIHONBASHI SPACE WEEK 2026」
一般社団法人クロスユーと三井不動産株式会社が主催するアジア最大級の宇宙ビジネスイベント。6 回目の開催となる今回は、12 月1日（火）～4日（金）の会期中に、国内外から過去最多となる約 200 の企業・団体が参画、50 以上の宇宙関連イベントが開催されます。各イベントでは、各地域で進む宇宙産業振興や宇宙技術を活用した社会課題解決の取り組みなどが紹介されるほか、日本企業と海外企業とのビジネスマッチングなども行われる予定です。
参加登録 URL:　https://crossu.smktg.jp/public/seminar/view/1882

本リリースのポイント

- チーム Space Data Lab（SDL）が 12 月 3 日、自治体関係者を招いて衛星データ活用に関するトーク＆パネルディスカッションを開催
- 「衛星データ活用の『最初の一歩』を支援する」という SDL の活動意義と、これまでの取組みへのご賛同をいただいたことから実現したイベント
- 「自治体が主導する、衛星データを活用した人材育成・ビジネス促進」をテーマに、衛星データを地域に根付かせ、人を育て、ビジネスにつなげるためのヒントを探る

1. チーム Space Data Lab の取組み

昨今、農業、防災・減災、地域振興など幅広いテーマで自治体・企業問わず宇宙衛星データの活用ニーズが高まっています。宇宙衛星データは、このような地域社会の未来を支える新たなインフラとして期待される一方、その活用や人材の育成には、心理的障壁やコスト面から検討を躊躇するケースが依然として多く見られます。

SDL は、このような状況を解消し、衛星データがより幅広い領域で活用されることを目指し、東京大学大学院工学系研究科　中須賀・船瀬・五十里研究室（当時）とアドソル日進が 2022 年から 2026 年にかけて進めてきた共同研究で培った技術やネットワークを基盤に設立されました。

報道関係者 お問い合わせ先： アドソル日進株式会社　経営企画室　広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131　　e-mail：ir@adniss.jp

大学・企業の有志が連携し、特定の製品やサービスの販売を目的とせず、中立かつオープンな立場から、衛星データ活用の「最初の一歩」を支援する非営利チームとして活動しています。

SDL は現在、「ユーザー・業界に寄与する衛星データ AI の研究」をテーマに、現場課題を見据えた衛星データ AI の研究開発と、その成果を業界コミュニティへ発信しフィードバックを得る活動を継続しています。

2026年は、自治体向けセミナーや高校生向けイベントの開催、ジオ展への出展、学会発表などを通じて、衛星データ活用および衛星データ×AI 領域の裾野拡大に積極的に取り組んできました。こうした活動を通じて、衛星データ×AI の社会実装を担う人材や組織とのネットワークを形成し、具体的な衛星データ活用試作プロジェクト創出にもつながっています。

チーム Space Data Lab　2026 年の主な活動事例



2. トーク＆パネルディスカッション概要

今回のトーク＆パネルディスカッションは、SDL 活動を通じたネットワークによって、ご登壇自治体の皆さまに SDL の活動意義へのご賛同をいただいたことから実現したものです。

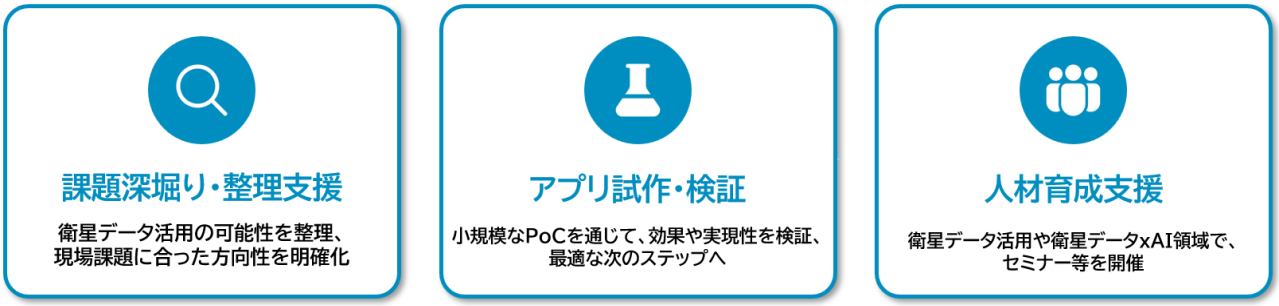
（1）日時	2026 年 12 月 3 日（木）10:00～11:00 ※終了後 11:30 まで、軽食付きのネットワーキングタイムを予定
（2）場所	NIHONBASHI BASE （東京都中央区日本橋室町 3-3-9　日本橋アイティビル　3F）
（3）テーマ	「自治体が主導する、衛星データを活用した人材育成・ビジネス促進」 ①　衛星データの現在地：私たちは衛星データをどう捉えているのか ②　現在地からこの先へ：衛星データが「選ばれる手段」になるために必要なこと ③　よりよい未来に向けて：データにできること、私たちにできること
（4）登壇者	中須賀 真一（立命館大学教授／一般社団法人クロスユー 代表理事） 鹿児島県商工労働水産部 産業立地課 新産業創出室 北海道経済部 産業振興局 産業振興課 神奈川県産業労働局 産業部 岩瀬 優太（アドソル日進株式会社） パネルディスカッション ファシリテーター　向井田 明（合同会社 Oppofields） 司会　浜谷 千波（チーム Space Data Lab 事務局／アドソル日進株式会社）
（5）申込み	こちらの URL からお申込みください

報道関係者 お問い合わせ先： アドソル日進株式会社　経営企画室　広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131　　e-mail：ir@adniss.jp

3．今後の展望

SDL は今後も、衛星データ×AI 人材の育成支援に加え、課題深堀り・整理支援（利用者視点での現場課題や業務課題を踏まえた衛星データ活用テーマの具体化）、アプリケーション試作・PoC 支援（効果や実現性を検証し、本格導入に向けた最適な次のステップを明確化する取組み）などを通じ、「衛星データ×AI」の社会実装に向けた「最初の一歩」を後押しする取組みを継続してまいります。

チーム Space Data Lab が提供すること



以　上

※ 本リリースに記載された内容は、**発表日時点の情報**です。その後、サービス提供状況や仕様などが変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
※ その他会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。
なお、本文中において TM、®マークの一部を記載しておりません。

報道関係者 お問い合わせ先： アドソル日進株式会社　経営企画室　広報・IR 担当
TEL（代表）：03-5796-3131　　e-mail：ir@adniss.jp